



770

ダンプトラック

技術仕様

コンフィギュレーションおよび機能は地域により異なります。利用可能かどうかは、地域のCat®ディーラーにお問い合わせください。

目次

仕様	2
エンジン - 米国EPA Tier 4 Final/EU Stage V	2
エンジン - 米国EPA Tier 3および2相当	2
質量 - Tier 4 Final/Stage V	2
質量 - Tier 3および2相当	2
運転仕様	2
トランスミッション - Tier 4 Final/Stage V	2
トランスミッション - Tier 3および2相当	2
ファイナルドライブ	2
ブレーキ	2
ボディホイスト	3
容量 - デュアルスロープ - フィルファクター100 %	3
容量 - フラットフロア - フィルファクター100 %	3
容量 - 採石ボディ - 100 % フィルファクター	3
質量配分 - 概算値	3
サスペンション	3
騒音 - Tier 4 Final/Stage V	3
騒音 - Tier 2	3
エアコンシステム	3
整備交換時の容量	3
ステアリング	3
タイヤ	3
ROPS/FOPS	3
質量/積載質量計算 - Tier 4 Final/Stage V	4
質量/積載質量計算 - Tier 3および2相当	6
寸法 - Tier 4 Final/Stage V、Tier 3および2相当	8
リターダ性能 - Tier 4 Final/Stage V	9
リターダ性能 - Tier 3および2相当	12
登坂能力/速度/けん引力 - Tier 4 Final/Stage V	15
登坂能力/速度/けん引力 - Tier 3および2相当	16
標準およびオプション装備品	17
770の環境に関する宣言	19

770ダンプトラック仕様

エンジン - 米国EPA Tier 4 Final/EU Stage V

エンジンモデル	CAT® C15	
定格エンジン回転数	1,700 rpm	
定格出力(グロス) - SAE J1995:2014	384 kW	515 hp
定格出力(ネット) - SAE J1349:2011	356 kW	477 hp
定格出力(ネット) - ISO 9249	356 kW	477 hp
定格出力(ネット) - 80/1269/EEC	365 kW	489 hp
エンジン出力 - ISO 14396	379 kW	508 hp
ピークトルク回転数	1,200 rpm	
定格トルク(ネット) - SAE J1349:2011	2,141 N·m	1,579 lbf-ft
シリンダ数	6	
内径	137 mm	5.4 in
行程	171 mm	6.7 in
総行程容積(排気量)	15.2 L	927.6 in ³

- 定格出力(ネット)は、指定されている規格の基準条件の下で試験を行った場合の値です。
- 表示されているMIN NET SAE J1349:2011/ISO 9249:2007定格出力(ネット)は、エンジンにオルタネータ、エアインテイクシステム、および排気システムを装備し、ファンが最大速度で回転している場合に、フライホイール部で得られる出力です。
- 正味トルクライズ値はSAE J1349に適合しています。

エンジン - 米国EPA Tier 3および2相当

エンジンモデル	Cat C15	
定格エンジン回転数	1,800 rpm	
定格出力(グロス) - SAE J1995:2014	381 kW	511 hp
定格出力(ネット) - SAE J1349:2011	360 kW	483 hp
定格出力(ネット) - ISO 9249	364 kW	476 hp
定格出力(ネット) - 80/1269/EEC	365 kW	489 hp
エンジン出力 - ISO 14396	377 kW	506 hp
ピークトルク回転数	1,300 rpm	
定格トルク(ネット) - SAE J1349:2011	2,280 N·m	1,682 lbf-ft
シリンダ数	6	
内径	137 mm	5.4 in
行程	171 mm	6.7 in
総行程容積(排気量)	15.2 L	927.6 in ³

- 定格出力(ネット)は、指定されている規格の基準条件の下で試験を行った場合の値です。
- 公称定格出力(ネット)は、エンジンがオルタネータ、エアクリーナ、マフラー、ファンを装備した状態でフライホイールで測定される、定格回転数で利用できる出力です。
- 表示されているMIN NET SAE J1349:2011/ISO 9249:2007定格出力(ネット)は、エンジンにエアインテイクシステム、排気システム、およびオルタネータを装備し、ファンが最大速度で回転している場合に、フライホイール部で得られる出力です。
- 正味トルクライズ値はSAE J1349に適合しています。

質量 - 概算値 - Tier 4 Final/Stage V

目標車両総質量	71,214 kg	157,000 lb
シャーシ質量	25,378 kg	55,948 lb
ボディ質量	7,914 kg	17,447 lb

- 100%の燃料残量、ホイスト、ボディマウンティンググループ、リムおよびタイヤを含むシャーシ質量。
- ボディ質量はフラットフロアボディ(ライナなし)で、構成に応じて異なります。

質量 - 概算値 - Tier 3および2相当

目標車両総質量	71,214 kg	157,000 lb
シャーシ質量	24,900 kg	54,895 lb
ボディ質量	7,914 kg	17,447 lb

- 100%の燃料残量、ホイスト、ボディマウンティンググループ、リムおよびタイヤを含むシャーシ質量。
- ボディ質量は標準デュアルスローボディ(ライナなし)で、構成に応じて異なります。

運転仕様

目標ペイロード(100%)	38.0トン	42.5トン
最大作動ペイロード(110%)	42.5トン	46.8トン
最大許容ペイロード(120%)	46.3トン	51.0トン
ボディ容量(SAE 2:1)	25.2 m ³	32.9 yd ³
最高速度 - 積載時	73.7 km/h	45.8 mph

- 車両の最大総質量制限については、「Caterpillar鉱業用トラックの10-10-20積載量に関する方針」をご参照ください。
- デュアルスローボディ(ライナなし)の容量。

トランスミッション - Tier 4 Final/Stage V

前進1速	11.9 km/h	7.4 mph
前進2速	16.3 km/h	10.1 mph
前進3速	22.1 km/h	13.8 mph
前進4速	29.7 km/h	18.5 mph
前進5速	40.3 km/h	25.1 mph
前進6速	54.4 km/h	33.8 mph
前進7速	73.8 km/h	45.8 mph
後進	15.7 km/h	9.7 mph

- 最高走行速度は、18.00R33 (E4) 標準タイヤを使用した場合の値です。

トランスミッション - Tier 3および2相当

前進1速	11.9 km/h	7.4 mph
前進2速	16.3 km/h	10.1 mph
前進3速	22.0 km/h	13.7 mph
前進4速	29.6 km/h	18.4 mph
前進5速	40.2 km/h	25.0 mph
前進6速	54.2 km/h	33.7 mph
前進7速	73.5 km/h	45.7 mph
前進7速(ベトナム)*	59.0 km/h	36.6 mph
後進	15.6 km/h	9.7 mph

- 最高走行速度は、18.00R33 (E4) 標準タイヤを使用した場合の値です。
*ベトナム仕様の場合、最高走行速度は59 km/hに制限されます。

ファイナルドライブ

	T4F	T2/T3
ディファレンシャルレシオ	1.92:1	2.12:1
プラネタリレシオ	4.80:1	4.80:1
合計減速比率	9.26:1	10.176:1

ブレーキ

ブレーキ表面 - フロント	1,395 cm ²	216 in ²
ブレーキ表面 - リア	40,225 cm ²	6,235 in ²
ブレーキ基準	ISO 3450:2011	

- 目標機械総運転質量は71 214 kg (157,000 lb) です。

ボディホイスト

ポンプ流量 - 高速アイドル時 (Tier 3およびTier 2)	413 L/min	109.1 gal/min
ポンプ流量 - 高速アイドル時 (Tier 4/Stage V)	425 L/min	112.2 gal/min
リリーフバルブ設定 - 上げ	18,950 kPa	2,750 psi
リリーフバルブ設定 - 下げ	3,450 kPa	500 psi
ボディ上昇時間 - 高速アイドル時	8.0秒	
ボディ下降時間 - フロート	10.0秒	

容量 - デュアルスロープ - フィルファクター100 %

平積み	17.6 m ³	23.01 yd ³
山積み (SAE 2:1) *	25.2 m ³	32.9 yd ³

• 推奨ボディについては、お近くのCatディーラーにご相談ください。

*ISO 6483:1980

容量 - フラットフロア - フィルファクター100 %

平積み	17.6 m ³	23.01 yd ³
山積み (SAE 2:1) *	25.2 m ³	32.9 yd ³

• 推奨ボディについては、お近くのCatディーラーにご相談ください。

*ISO 6483:1980

容量 - 採石ボディ - 100 %フィルファクター

平積み	17.5 m ³	22.9 yd ³
山積み (SAE 2:1) *	24.9 m ³	32.6 yd ³

• 推奨ボディについては、お近くのCatディーラーにご相談ください。

*ISO 6483:1980

質量配分 - 概算値

フロントアクスル - 空車時	52 %
フロントアクスル - 積車時	34 %
リアアクスル - 空車時	48 %
リアアクスル - 積車時	66 %

サスペンション

無積載時から積載時までのシリンダストローク (フロント)	234 mm	9.2 in
無積載時から積載時までのシリンダストローク (リア)	149 mm	5.9 in
リアアクスルオシレーション	±8.9°	

騒音 - Tier 4 Final/Stage V

オペレータ騒音レベル (ISO 6396:2008)	80 dB (A)
周囲騒音レベル (ISO 6395:2008)	117 dB (A)

騒音 - Tier 2

オペレータ騒音レベル (ISO 6396:2008)	81 dB (A)
周囲騒音レベル (ISO 6395:2008)	117 dB (A)

- オペレータ音圧レベルは、標準の車両仕様構成用にISO 6396:2008で規定されている試験の手順と条件に従って測定されました。この測定は、エンジン冷却ファンを最高速度の70%にして行われました。
- キャブ式運転室であっても、キャブが適切にメンテナンスされていない場合、ドアやウィンドウが開いている状態で長時間作業する場合、騒音の激しい環境で作業を行う場合などでは、聴覚保護具が必要になる場合があります。
- 機械の音響出力レベルは、標準の車両仕様構成用にISO 6395:2008で規定されている試験の手順と条件に従って測定されました。この測定は、エンジン冷却ファンを最高速度の70%にして行われました。

エアコンシステム

- 当機のエアコンシステムにはフッ素系温室効果ガス冷媒R134aまたはR1234yfを使用。ガスの識別情報については、機械のラベルを参照してください。
- R134a (地球温暖化係数=1430) を使用した場合、システムには1.9 kg (4.2 lb) の冷媒、つまり2.71メートルトン (2.99トン) のCO₂相当物が含まれます。
- R1234yf (地球温暖化係数=0.501) を使用する場合、システムには1.85 kg (4.1 lb) の冷媒、つまり0.001メートルトン (0.001トン) のCO₂相当物が含まれます。

整備交換時の容量

燃料タンク	795 L	210.0 gal
冷却システム (Tier 4)	164 L	43.3 gal
冷却システム (Tier 2相当)	154 L	40.6 gal
エンジンクランクケース	90 L	24.0 gal
ディファレンシャルおよびファイナルドライブ	140 L	37.0 gal
ステアリングタンク	36 L	9.5 gal
ステアリングシステム (タンクを含む)	54 L	14.0 gal
ブレーキホイスト作動油タンク	176 L	46.5 gal
ホイストとブレーキ油圧システム	322 L	85.0 gal
トランスミッションおよびコンバータシステム (Tier 4)	70 L	18.0 gal
トランスミッションおよびコンバータシステム (Tier 2相当)	61 L	16.1 gal
フロントホイール	3.4 L	1.0 gal

ステアリング

ステアリング基準	ISO 5010:2019	
ステア角	40.5°	
旋回半径 - フロント	17.6 m	57.7 ft
旋回半径 - クリアランス直径	20.3 m	66.6 ft

タイヤ

標準タイヤ	18.00R33 (E4)
-------	---------------

- 770トラックの作業能力は非常に高いため、作業条件によっては標準またはオプションタイヤのTKPH (TMPH) の能力限界を超えてしまうことがあります。その場合は、作業量を制限してください。
- Caterpillarでは、すべての作業条件を検討し、タイヤメーカーとご相談の上、適切なタイヤを選択することをお勧めします。

ROPS/FOPS

- ROPS/FOPS標準
- Caterpillar製転倒時運転者保護構造 (ROPS, Rollover Protective Structure) キャブは、運転席でISO 3471:2008、トレーナシートでISO 13459:2012を満たしています。
 - 落下物保護構造 (FOPS, Falling Objects Protective Structure) は、運転席でISO 3449:2005 Level II、トレーナシートでISO 13459:2012 Level IIを満たしています。

770ダンプトラック仕様

質量/積載質量計算 – Tier 4 Final/Stage Vの例

		フラットフロア							
コンフィギュレーション別の機械質量		ライナなし		ライナあり		ラバーライナあり		採石ボディ	
ベース: フロア/サイドウォール/フロントウォール	mm (in)	16/10/14 (0.62/0.39/0.55)		16/10/14 (0.62/0.39/0.47)		16/10/14 (0.62/0.39/0.47)		25/14/16 (0.98/0.55/0.62)	
ライナ: フロア/サイドウォール/フロントウォール	mm (in)			16/8/8 (0.62/0.31/0.31)		102/0/0 (4.0/0/0)			
ボディ容量	m ³ (yd ³)	25.2	(33)	24.9	(32.6)	23.6	(30.9)	24.9	(32.6)
目標車両総質量	kg (lb)	71,214	(157,001)	71,214	(157,001)	71,214	(157,001)	71,214	(157,001)
空のシャーシ質量	kg (lb)	24,933	(54,968)	24,933	(54,968)	24,933	(54,968)	24,933	(54,968)
ボディシステム質量	kg (lb)	7,850	(17,306)	10,790	(23,788)	10,095	(25,948)	10,095	(22,256)
無積載時機械質量	kg (lb)	32,783	(72,274)	35,723	(78,756)	35,028	(80,916)	35,028	(77,224)
燃料タンク	L (gal)	529	(140)	529	(140)	529	(140)	529	(140)
燃料タンク - 100 % 充填	kg (lb)	445	(981)	445	(981)	445	(981)	445	(981)
無積載時機械運転質量	kg (lb)	33,228	(73,255)	36,168	(79,737)	35,473	(81,897)	35,473	(78,205)
積載質量									
目標ペイロード (100 %) *	kg (lb)	37,986	(83,745)	35,046	(77,264)	35,741	(75,103)	35,741	(78,796)
	メートルトン(トン)	38.0	(41.9)	35.0	(38.6)	35.7	(37.6)	35.7	(39.4)
最大積載量 (目標値の110 %) *	kg (lb)	41,785	(92,120)	38,551	(84,990)	39,315	(82,614)	39,315	(86,675)
	メートルトン(トン)	41.8	(46.1)	38.6	(42.5)	39.3	(41.3)	39.3	(43.3)
積載質量 (目標値の120 %) * を超えないこと	kg (lb)	45,583	(100,494)	42,055	(92,716)	42,889	(90,124)	42,889	(94,555)
	メートルトン(トン)	45.6	(50.2)	(42.1)	(46.4)	42.9	(45.1)	42.9	(47.3)

*Caterpillar 10/10/20の積載質量ポリシーを参照してください。

サイドボード(オプション)

高さ		容量追加		質量		最大作動ペイロード ドマテリアル密度**	
155 mm	6.0 in	2.5 m ³	3.4 yd ³	366 kg	806 lb	1,577 kg	2,646 lb

*Caterpillar 10/10/20の積載質量ポリシーを参照してください。

**採石ボディ別 (90 % のボディ容積充填率)

注記: 無積載時シャーシ質量 (燃料なし)。

積載質量計算: 定義

目標積載質量 = 目標の総機械質量 - 無積載時機械運転質量

無積載時機械質量 = 無積載時シャーシ質量 + ボディシステム質量

最大積載量 = 目標積載質量 × 1.10 (110 %)

質量/積載質量計算 – Tier 4 Final/Stage Vの例

デュアルスロープ					
コンフィギュレーション別の機械質量		ライナなし		ライナあり	
ベース: フロア/サイドウォール/フロントウォール	mm (in)	16/10/12 (0.62/0.39/0.55)		16/10/12 (0.62/0.39/0.55)	
ライナ: フロア/サイドウォール/フロントウォール	mm (in)			16/8/8 (0.62/0.31/0.39)	
ボディ容量	m ³ (yd ³)	25.2	(33.0)	24.8	(32.6)
目標車両総質量	kg (lb)	71,214	(157,001)	71,214	(157,001)
空のシャーシ質量	kg (lb)	24,933	(54,968)	24,933	(54,968)
ボディシステム質量	kg (lb)	7,665	(16,898)	10,560	(23,281)
無積載時機械質量	kg (lb)	32,598	(71,867)	35,493	(78,249)
燃料タンク	L (gal)	529	(140)	529	(140)
燃料タンク – 100 % 充填	kg (lb)	445	(981)	445	(981)
無積載時機械運転質量	kg (lb)	33,043	(72,848)	35,938	(79,230)
積載質量					
目標ペイロード (100 %) *	kg (lb)	38,171	(84,153)	35,276	(77,771)
	メートルトン (トン)	38.2	(42.1)	35.3	(38.9)
最大積載量 (目標値の110 %) *	kg (lb)	41,988	(92,568)	38,804	(85,548)
	メートルトン (トン)	42.0	(46.3)	38.8	(42.8)
積載質量 (目標値の120 %) * を超えないこと	kg (lb)	45,805	(100,984)	42,331	(93,325)
	メートルトン (トン)	45.8	(50.5)	42.3	(46.7)

*Caterpillar 10/10/20の積載質量ポリシーを参照してください。

サイドボード (オプション)

362-8620							
高さ		容量追加		質量		最大作動ペイロード ドマテリアル密度**	
155 mm	6.0 in	2.5 m ³	3.4 yd ³	366 kg	806 lb	1,577 kg	2,646 lb

*Caterpillar 10/10/20の積載質量ポリシーを参照してください。

**採石ボディ別 (90 % のボディ容積充填率)

注記: 無積載時シャーシ質量 (燃料なし)。

積載質量計算: 定義

目標積載質量 = 目標の総機械質量 - 無積載時機械運転質量

無積載時機械質量 = 無積載時シャーシ質量 + ボディシステム質量

最大積載量 = 目標積載質量 × 1.10 (110 %)

770ダンプトラック仕様

質量/積載質量計算 – Tier 3および2相当の例

コンフィギュレーション別の機械質量		フラットフロア				採石ボディ	
		ライナなし		ライナあり		ライナなし	
ベース: フロア/サイドウォール/フロントウォール	mm (in)	16/10/12 (0.62/0.39/0.47)		16/10/14 (0.62/0.39/0.47)		25/14/16 (0.98/0.55/0.62)	
ライナ: フロア/サイドウォール/フロントウォール	mm (in)			16/8/8 (0.62/0.31/0.31)			
ボディ容量	m ³ (yd ³)	25.2	(33)	24.9	(32.6)	24.9	(32.6)
目標車両総質量	kg (lb)	71,214	(157,001)	71,214	(157,001)	71,214	(157,001)
空のシャーシ質量	kg (lb)	24,455	(53,914)	24,455	(53,914)	24,455	(53,914)
ボディシステム質量	kg (lb)	7,850	(17,306)	10,790	(23,788)	10,095	(22,256)
無積載時機械質量	kg (lb)	32,305	(71,221)	35,245	(77,702)	34,550	(76,170)
燃料タンク	L (gal)	529	(140)	529	(140)	529	(140)
燃料タンク - 100 % 充填	kg (lb)	445	(983)	445	(983)	445	(983)
無積載時機械運転質量	kg (lb)	32,750	(72,204)	35,690	(78,685)	34,995	(77,153)
積載質量							
目標ペイロード (100 %) *	kg (lb)	38,464	(84,797)	35,524	(78,315)	36,219	(79,848)
	メートルトン(トン)	38.5	(42.4)	35.5	(39.2)	36.2	(39.9)
最大積載量 (目標値の110 %) *	kg (lb)	42,310	(93,277)	39,076	(86,147)	39,841	(87,832)
	メートルトン(トン)	42.3	(46.6)	39.1	(43.1)	39.8	(43.9)
積載質量 (目標値の120 %) * を超えないこと	kg (lb)	46,157	(101,756)	42,629	(93,978)	43,463	(95,817)
	メートルトン(トン)	46.2	(50.9)	42.6	(47.0)	43.5	(47.9)

*Caterpillar 10/10/20の積載質量ポリシーを参照してください。

*Caterpillar 10/10/20の積載質量ポリシーを参照してください。

積載質量計算: 定義

目標積載質量 = 目標の総機械質量 - 無積載時機械運転質量

無積載時機械質量 = 無積載時シャーシ質量 + ボディシステム質量

最大積載量 = 目標積載質量 × 1.10 (110 %)

質量/積載質量計算 – Tier 3および2相当の例

デュアルスロープ					
コンフィギュレーション別の機械質量		ライナなし		ライナあり	
ベース: フロア/サイドウォール/フロントウォール	mm (in)	16/10/12 (0.62/0.39/0.47)		16/10/12 (0.62/0.39/0.47)	
ライナ: フロア/サイドウォール/フロントウォール	mm (in)			16/8/8 (0.62/0.31/0.31)	
ボディ容量	m ³ (yd ³)	25.2	(33.0)	24.8	(32.4)
目標車両総質量	kg (lb)	71,214	(157,001)	71,214	(157,001)
空のシャーシ質量	kg (lb)	24,455	(53,914)	24,455	(53,914)
ボディシステム質量	kg (lb)	7,665	(16,898)	10,560	(23,281)
無積載時機械質量	kg (lb)	32,120	(70,813)	35,015	(77,195)
燃料タンク	L (gal)	529	(140)	529	(140)
燃料タンク – 100 % 充填	kg (lb)	445	(983)	445	(983)
無積載時機械運転質量	kg (lb)	32,565	(983)	35,460	(78,178)
積載質量					
目標ペイロード (100 %) *	kg (lb)	38,649	(85,205)	35,754	(78,822)
	メートルトン (トン)	38.6	(42.6)	35.8	(39.4)
最大積載量 (目標値の110 %) *	kg (lb)	42,514	(93,725)	39,329	(86,705)
	メートルトン (トン)	42.5	(46.9)	39.3	(43.4)
積載質量 (目標値の120 %) * を超えないこと	kg (lb)	46,379	(102,246)	42,905	(94,587)
	メートルトン (トン)	46.4	(51.5)	42.9	(47.3)

*Caterpillar 10/10/20の積載質量ポリシーを参照してください。

*Caterpillar 10/10/20の積載質量ポリシーを参照してください。

積載質量計算: 定義

目標積載質量 = 目標の総機械質量 - 無積載時機械運転質量

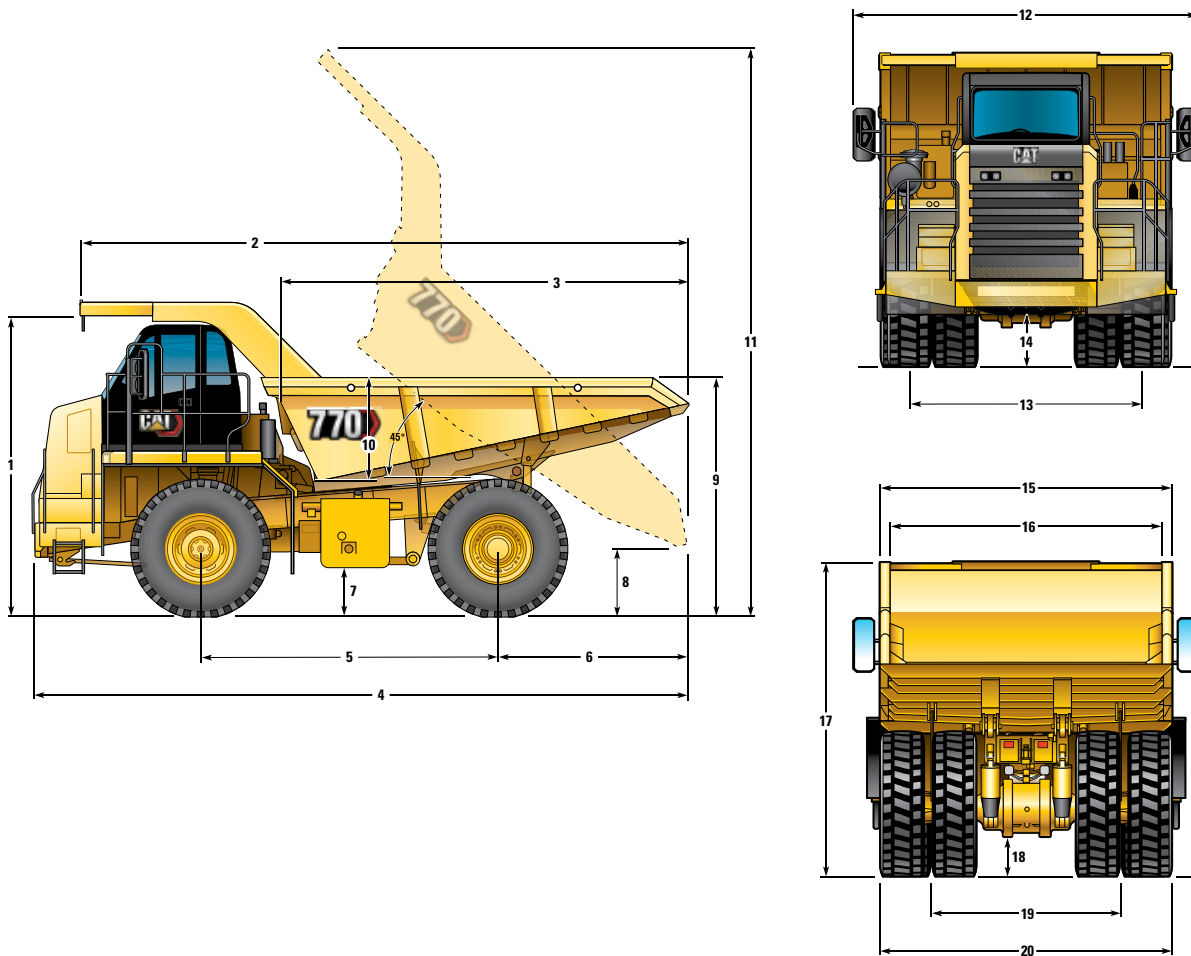
無積載時機械質量 = 無積載時シャーシ質量 + ボディシステム質量

最大積載量 = 目標積載質量 × 1.10 (110 %)

770ダンプトラック仕様

寸法 – Tier 4 Final/Stage V、Tier 3および2相当

寸法はすべて概算値。770寸法はフラットフロアボディを反映しています。

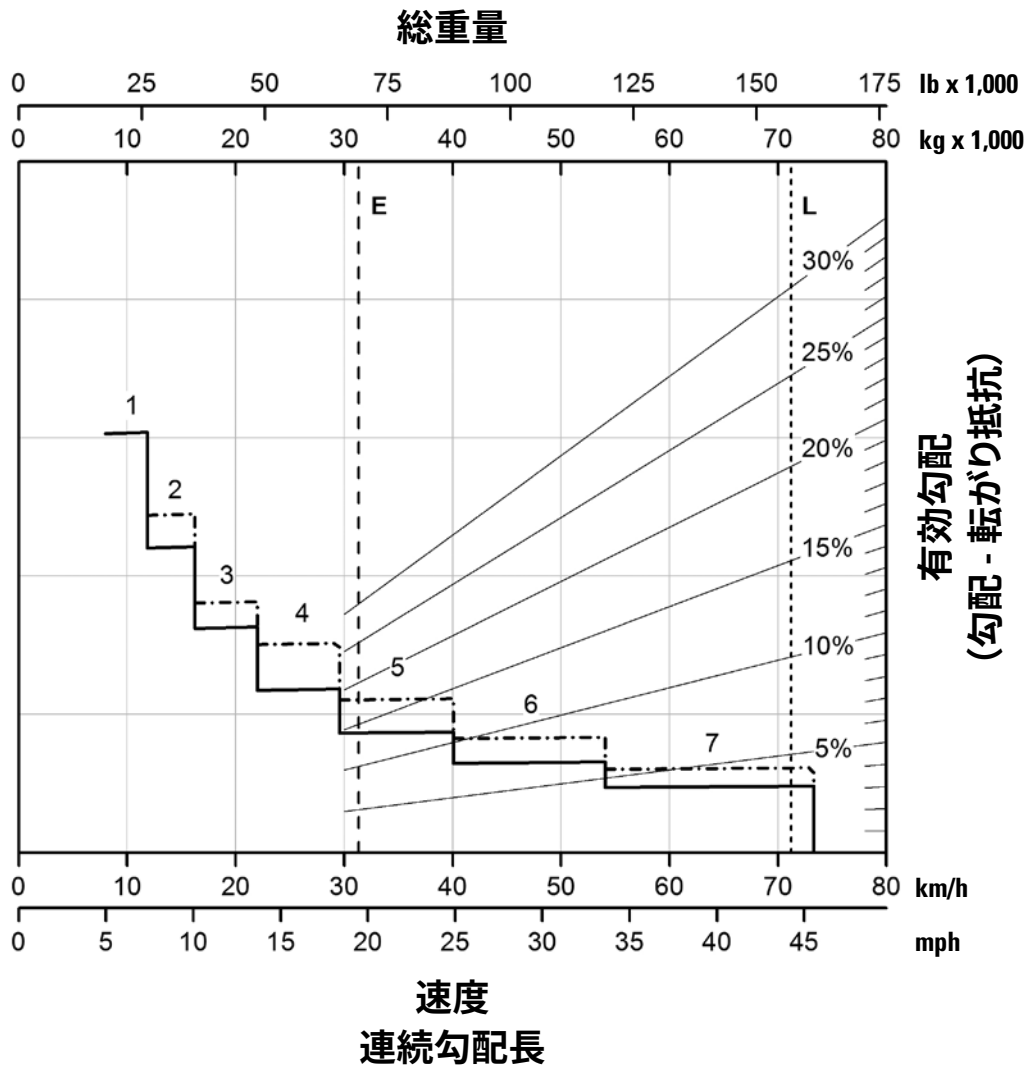


1	ROPS頂部までの高さ	3,857 mm	12.7 ft
2	ボディ全長	8,199 mm	26.8 ft
3	内側ボディ長さ	5,635 mm	18.5 ft
4	全長	8,796 mm	28.9 ft
5	ホイールベース	3,960 mm	13.0 ft
6	リアアックスルからテールまで	2,586 mm	8.5 ft
7	最低地上高	518 mm	1.6 ft
8	ダンプクリアランス	506 mm	1.7 ft
9	ダンプ高さ - 空荷時	3,147 mm	10.3 ft
10	内側ボディ深さ - 最大	1,404 mm	4.6 ft
11	全高 - ボディを上げた状態	8,255 mm	27.1 ft
12	運転幅	4,780 mm	15.7 ft
13	フロントタイヤ幅の中心線	3,110 mm	10.2 ft
14	エンジンガードクリアランス	335 mm	1.8 ft
15	外側ボディ幅	3,931 mm	12.9 ft
16	ボディ内幅	3,627 mm	11.9 ft
17	フロントキャノピ高さ	4,114 mm	13.5 ft
18	リアアックスルクリアランス	548 mm	1.8 ft
19	センターラインリアデュアルタイヤ幅	2,536 mm	8.3 ft
20	タイヤ全幅	3,693 mm	12.1 ft

リターダ性能 – Tier 4 Final/Stage V

リターダ性能の確認方法: すべての下り坂区間の長さを合計し、この合計を使用して、適切なリターダ図を参照してください。総重量から下ろした垂線と有効勾配(%)の交点を読み取ります。有効勾配は、実際の勾配(%)から転がり抵抗10 kg/t (20 lb/米トン)につき1%を引いたものです。この質量と有効勾配の交点から水平に引いた線と交わる曲線から上限ギヤ段を読み取り、そこから垂直に読み取って横軸の最大下り速度を確認します。この速度内では、ブレーキは冷却能力を超えることなく適切に作動します。以下の図は、周囲温度32° C (90° F)、海拔ゼロ地点、18.00R33 (E4) タイヤの条件に基づいています。

注記: 適切なギヤを選択して、エンジンが過回転しない範囲で可能な限り高いレベルにエンジンのrpmを維持してください。
冷却オイルが過熱した場合は、トランスミッションが次に低い速度段にシフトできるように走行速度を下げてください。



キー

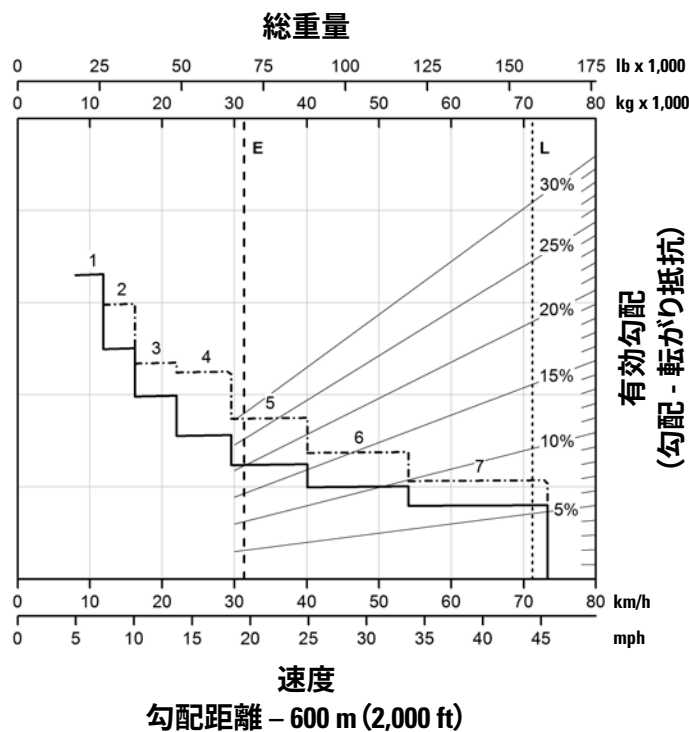
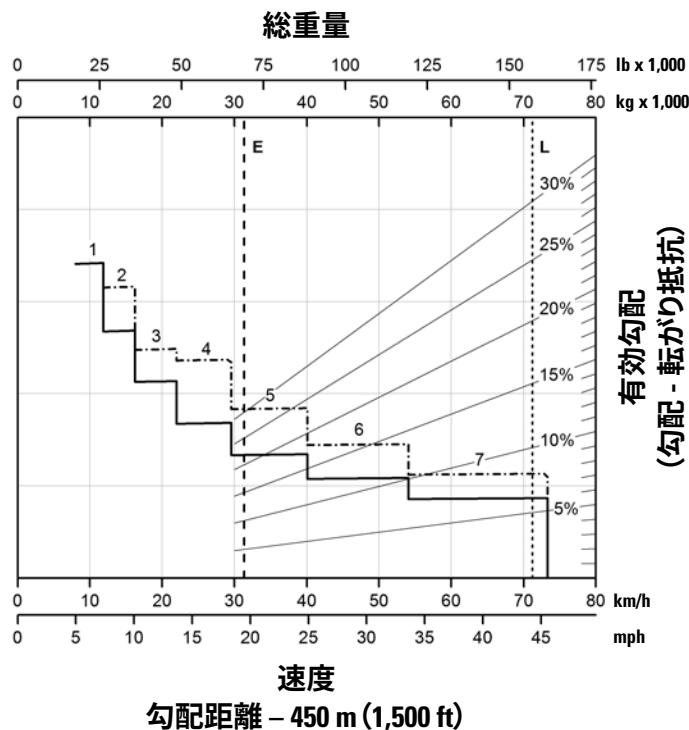
- 1-1速ギヤ
- 2-2速ギヤ
- 3-3速ギヤ
- 4-4速ギヤ
- 5-5速ギヤ
- 6-6速ギヤ
- 7-7速ギヤ

キー

- E- 空荷時33,224 kg (73,247 lb)
- L- 目標GMW 71,214 kg (157,000 lb)
- ARCのみを使用
- ARCとエンジンブレーキ

770ダンプトラック仕様

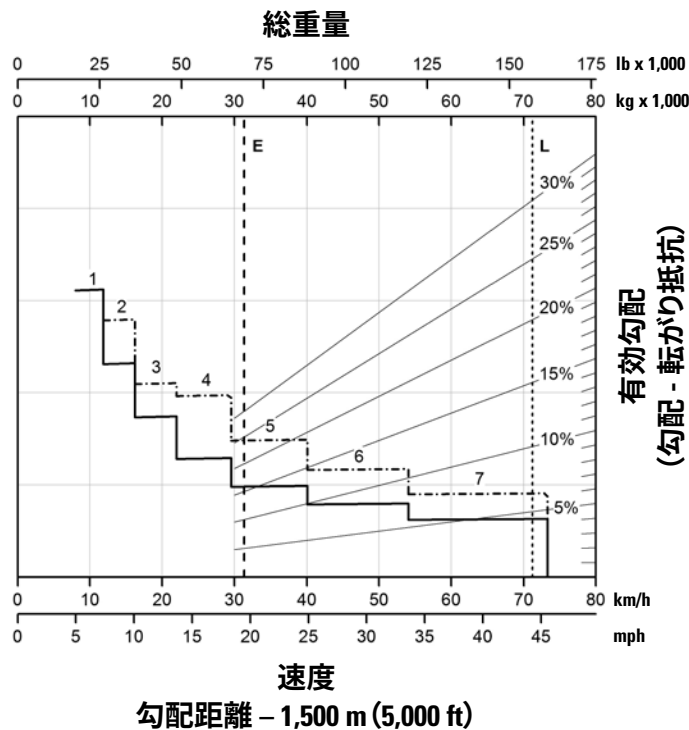
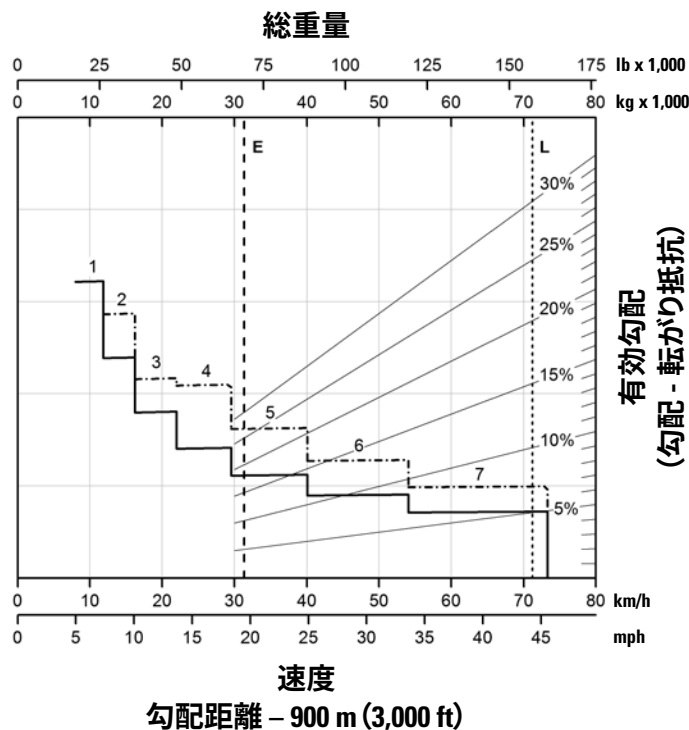
リターダ性能 – Tier 4 Final/Stage V



- キー
- 1 – 1速ギヤ
 - 2 – 2速ギヤ
 - 3 – 3速ギヤ
 - 4 – 4速ギヤ
 - 5 – 5速ギヤ
 - 6 – 6速ギヤ
 - 7 – 7速ギヤ

- キー
- E – 空荷時33,224 kg (73,247 lb)
 - L – 目標GMW 71,214 kg (157,000 lb)
 - ARCのみを使用
 - - - - - ARCとエンジンブレーキ

リターダ性能 – Tier 4 Final/Stage V



キー
 1 – 1速ギヤ
 2 – 2速ギヤ
 3 – 3速ギヤ
 4 – 4速ギヤ
 5 – 5速ギヤ
 6 – 6速ギヤ
 7 – 7速ギヤ

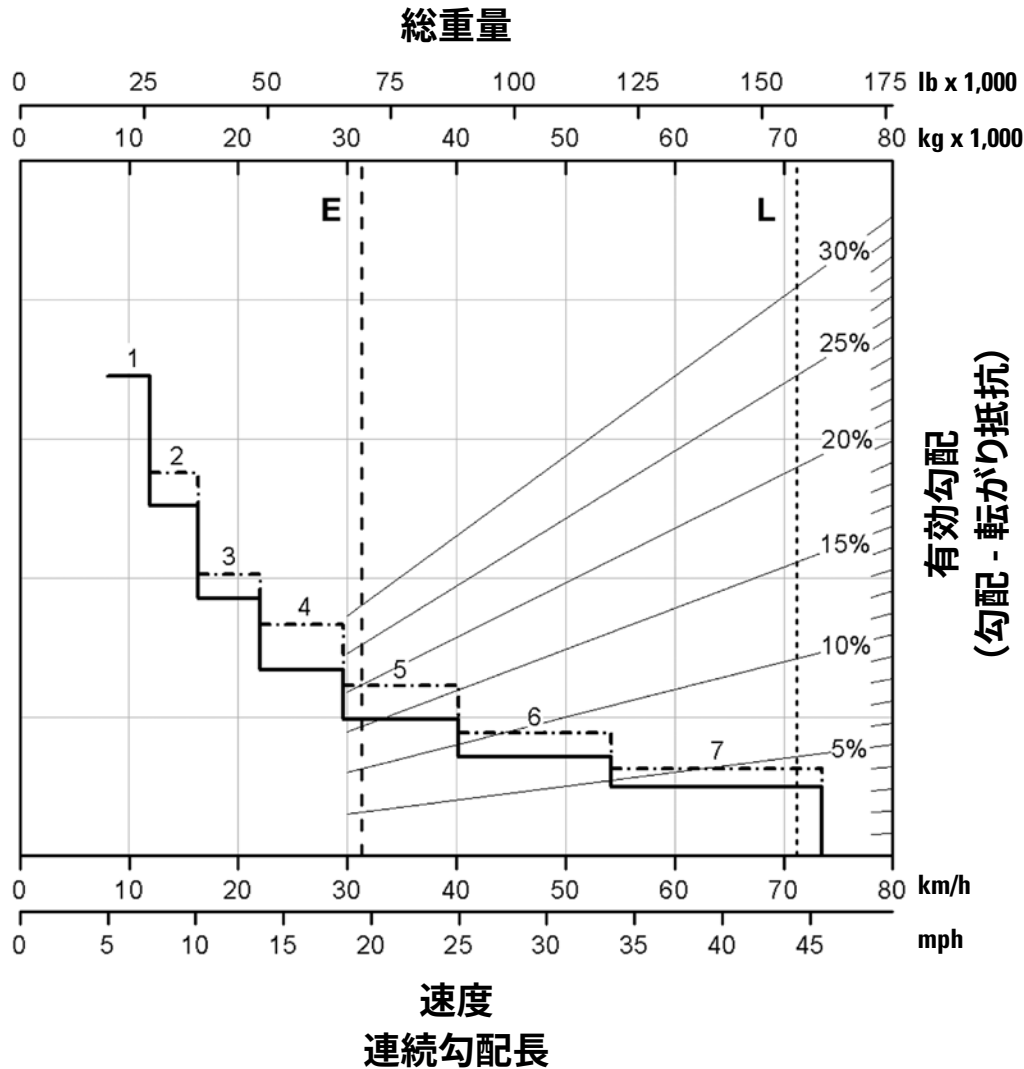
キー
 E – 空荷時33,224 kg (73,247 lb)
 L – 目標GMW 71,214 kg (157,000 lb)
 ———— ARCのみを使用
 - - - - - ARCとエンジンブレーキ

770ダンプトラック仕様

リターダ性能 – Tier 3および2相当

リターダ性能の確認方法: すべての下り坂区間の長さを合計し、この合計を使用して、適切なリターダ図を参照してください。総重量から下ろした垂線と有効勾配(%)の交点を読み取ります。有効勾配は、実際の勾配(%)から転がり抵抗10 kg/t (20 lb/米トン)につき1%を引いたものです。この質量と有効勾配の交点から水平に引いた線と交わる曲線から上限ギヤ段を読み取り、そこから垂直に読み取って横軸の最大下り速度を確認します。この速度内では、ブレーキは冷却能力を超えることなく適切に作動します。以下の図は、周囲温度32° C (90° F)、海拔ゼロ地点、18.00R33タイヤの条件に基づいています。

注記: 適切なギヤを選択して、エンジンが過回転しない範囲で可能な限り高いレベルにエンジンのrpmを維持してください。冷却オイルが過熱した場合は、トランスミッションが次に低い速度段にシフトできるように走行速度を下げてください。



キー

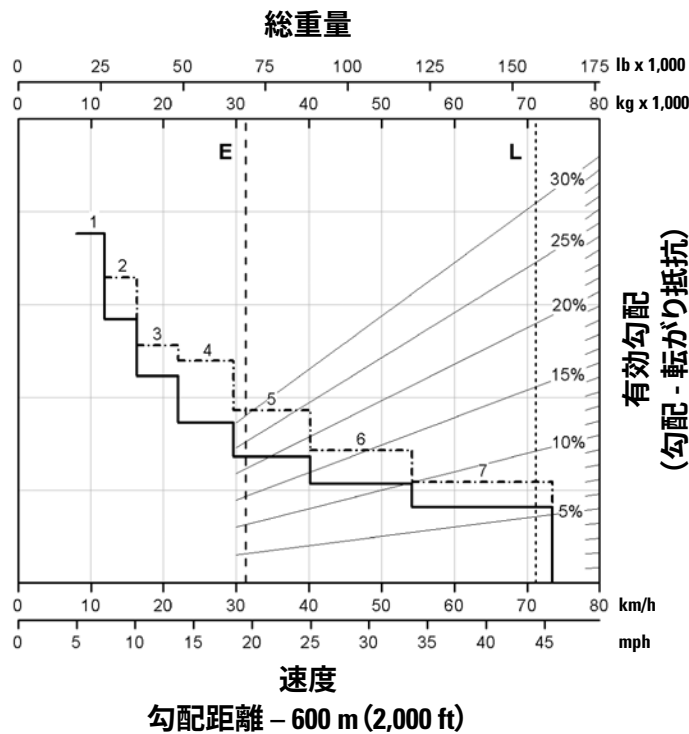
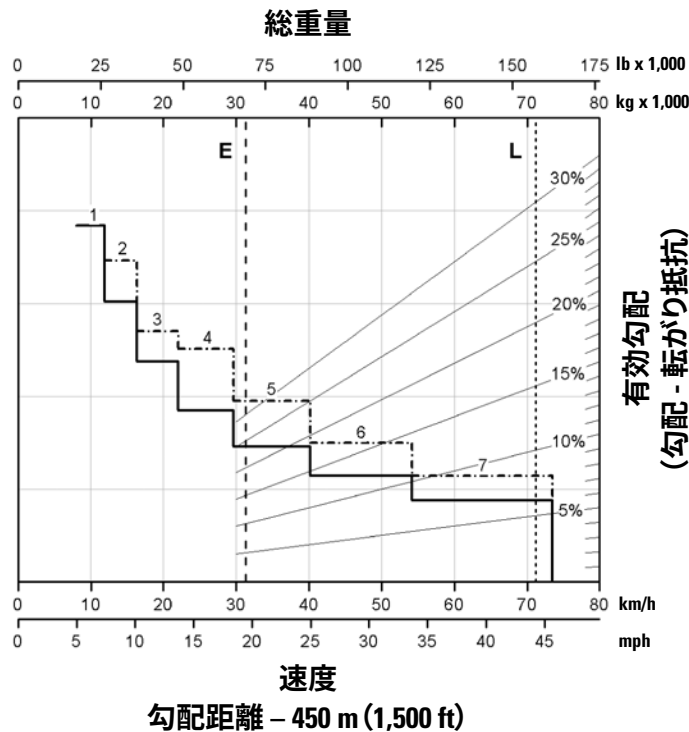
- 1 — 1速ギヤ
- 2 — 2速ギヤ
- 3 — 3速ギヤ
- 4 — 4速ギヤ
- 5 — 5速ギヤ
- 6 — 6速ギヤ
- 7 — 7速ギヤ

キー

- E – 空荷時33,224 kg (73,247 lb)
- L – 目標GMW 71,214 kg (157,000 lb)
- ARCのみを使用
- ARCとエンジンブレーキ

* ベトナム仕様の場合、7速ギヤでの速度は59 km/h (36.7 mph)に制限されます。

リターダ性能 – Tier 3および2相当



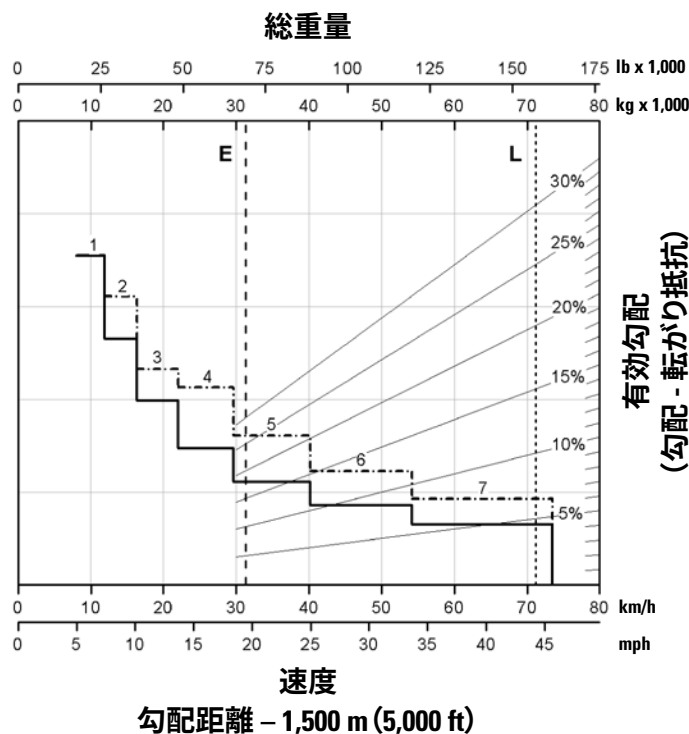
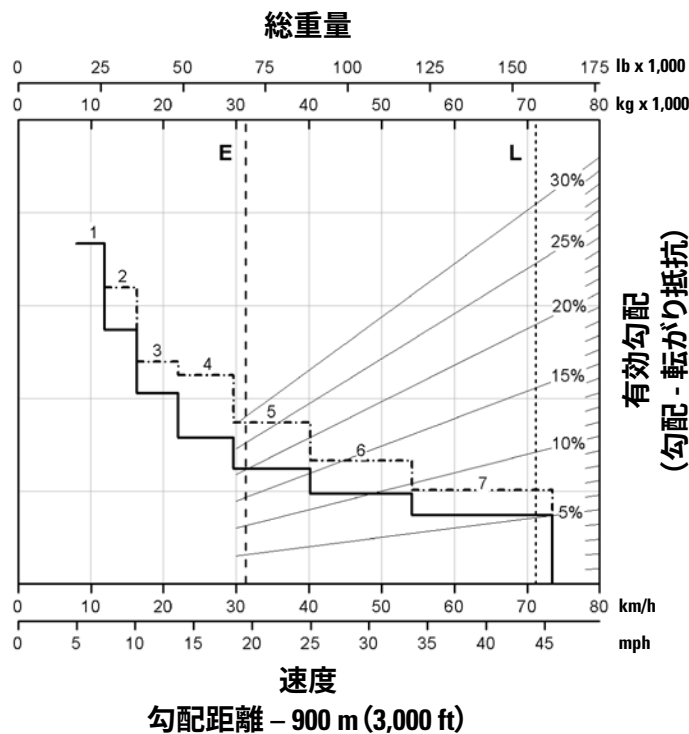
- キー
- 1 – 1速ギヤ
 - 2 – 2速ギヤ
 - 3 – 3速ギヤ
 - 4 – 4速ギヤ
 - 5 – 5速ギヤ
 - 6 – 6速ギヤ
 - 7 – 7速ギヤ*

- キー
- E – 空荷時33,224 kg (73,247 lb)
 - L – 目標GMW 71,214 kg (157,000 lb)
 - ARCのみを使用
 - - - - - ARCとエンジンブレーキ

* ベトナム仕様の場合、7速ギヤでの速度は59 km/h (36.7 mph) に制限されます。

770ダンプトラック仕様

リターダ性能 – Tier 3および2相当



キー

- 1 – 1速ギヤ
- 2 – 2速ギヤ
- 3 – 3速ギヤ
- 4 – 4速ギヤ
- 5 – 5速ギヤ
- 6 – 6速ギヤ
- 7 – 7速ギヤ*

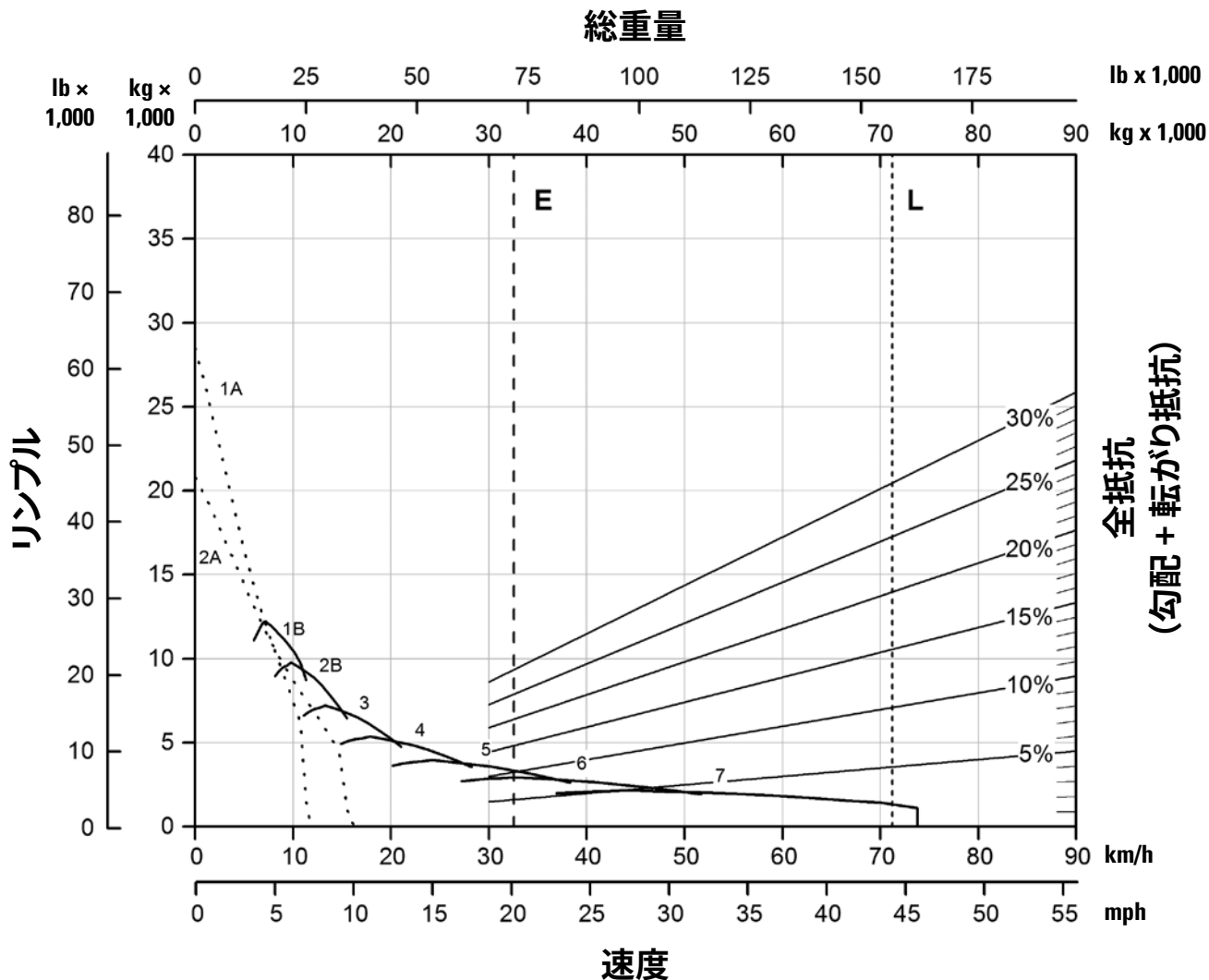
キー

- E – 空荷時33,224 kg (73,247 lb)
- L – 目標GMW 71,214 kg (157,000 lb)
- ARCのみを使用
- - - - ARCとエンジンプレーキ

* ベトナム仕様の場合、7速ギヤでの速度は59 km/h (36.7 mph) に制限されます。

登坂能力/速度/けん引力- Tier 4 Final/Stage V

登坂能力を確認するには、総重量から下ろした垂線と全抵抗(%)の交点を読み取ります。全抵抗は、転がり抵抗10 kg/t (20 lb/米トン) につき1%を、実際の勾配(%)に足したものです。この質量と抵抗の交点から水平に引いた線と交わる曲線から上限ギヤ段を読み取り、そこから垂直に読み取って横軸の最大速度を確認します。有効けん引力は、トラクションの程度と駆動ホイールの質量によって異なります。



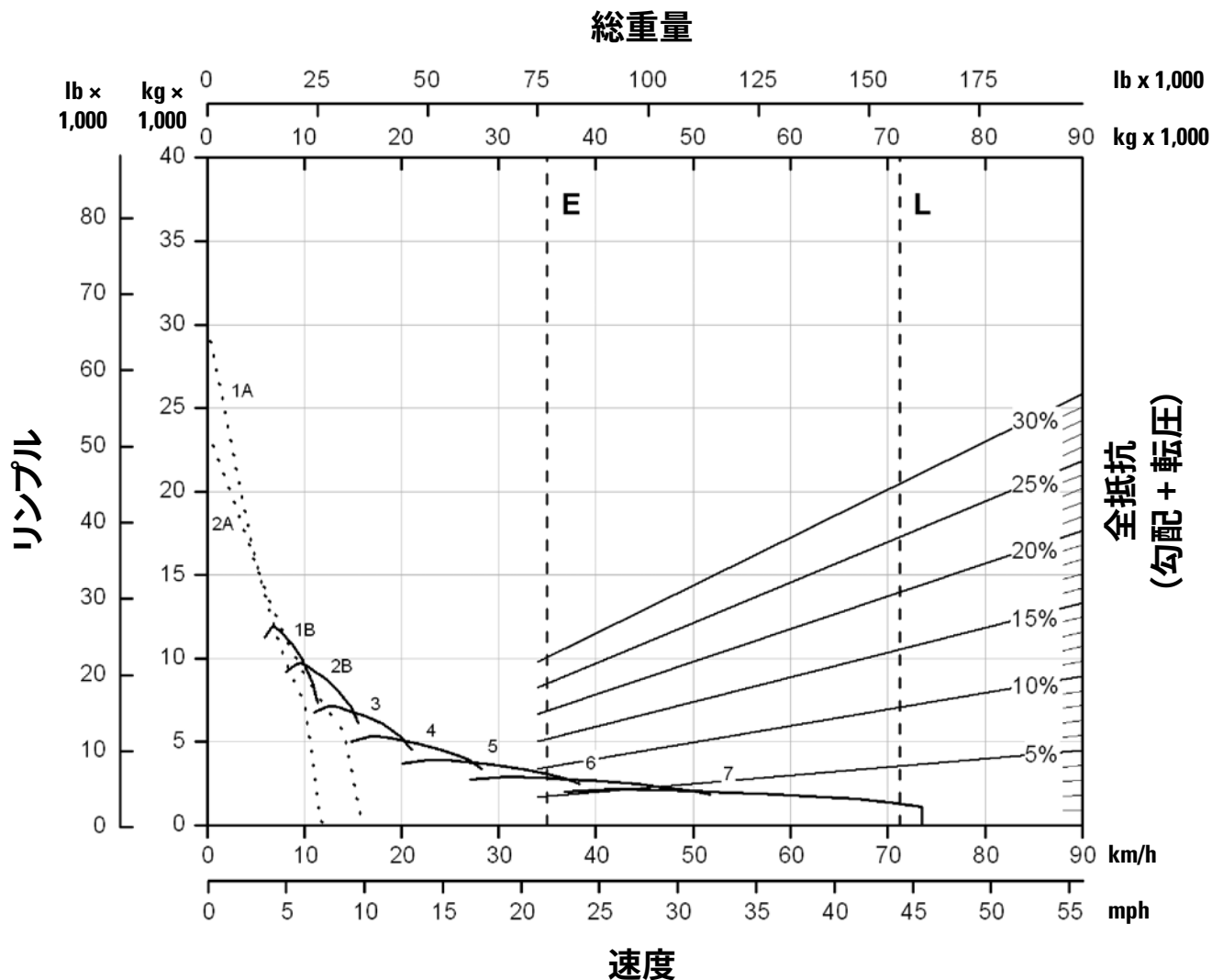
- キー
- 1A - 1速ギヤ (トルクコンバータ)
 - 1B - 1速ギヤ
 - 2A - 2速ギヤ (トルクコンバータ)
 - 2B - 2速ギヤ
 - 3 - 3速ギヤ
 - 4 - 4速ギヤ
 - 5 - 5速ギヤ
 - 6 - 6速ギヤ
 - 7 - 7速ギヤ

- キー
- E - 空荷時 33,224 kg (73,247 lb)
 - L - 目標GMW 71,214 kg (157,000 lb)
 - ARCのみを使用
 - ARCとエンジブレーキ

770ダンプトラック仕様

登坂能力/速度/けん引力 – Tier 3および2相当

登坂能力を確認するには、総重量から下ろした垂線と全抵抗(%)の交点を読み取ります。全抵抗は、転がり抵抗10 kg/t (20 lb/米トン) につき1%を、実際の勾配(%)に足したものです。この質量と抵抗の交点から水平に引いた線と交わる曲線から上限ギヤ段を読み取り、そこから垂直に読み取って横軸の最大速度を確認します。有効けん引力は、トラクションの程度と駆動ホイールの質量によって異なります。



キー

- 1A – 1速ギヤ(トルクコンバータ)
- 1B – 1速ギヤ
- 2A – 2速ギヤ(トルクコンバータ)
- 2B – 2速ギヤ
- 3 – 3速ギヤ
- 4 – 4速ギヤ
- 5 – 5速ギヤ
- 6 – 6速ギヤ
- 7 – 7速ギヤ

キー

- E – 空荷時33,224 kg (73,247 lb)
- L – 目標GMW 71,214 kg (157,000 lb)
- ARCのみを使用
- - - - - ARCとエンジブレーキ

* ベトナム仕様の場合、7速ギヤでの速度は59 km/h (36.7 mph) に制限されます。

標準およびオプション装備品

標準およびオプション装備品は異なる場合があります。詳細については、Cat®ディーラーにお問い合わせください。

標準 オプション		標準 オプション	
パワートレイン		運転席	
エアクリーナ(プレクリーナ付き(1))	✓	アドバイザディスプレイ	✓
エアソーエアアフタクーラ(ATAAC、Air-To-Air Aftercooler)	✓	エアコン	✓
自動コールドモードアイドルコントロール	✓	コートフック	✓
自動ニュートラルアイドル	✓	カップホルダ(4)	✓
自動ストール	✓	診断コネクタポート(24 V)	✓
油圧作動式ブレーキシステム: リターダ自動制御(ARC)(オイル冷却式マルチディスクブレーキを使用)、ブレーキ解除モータ(けん引用)、キャリパディスク(フロント)、エクステンデッドライフブレーキ、オイル冷却式マルチディスク(リア)、パーキング、セカンダリ、サービス	✓	娯楽ラジオ対応: 5 Aコンバータ、スピーカ、アンテナ、ワイヤリングハーネス	✓
ブレーキ摩耗インジケータ(Tier 4/Stage V)	✓	流体および燃料系統モニタリング(Tier 4のみ)	✓
ブレーキ摩耗インジケータ(Tier 3およびTier 2)	✓	流体および燃料系統モニタリング(Tier 3およびTier 2)	✓
Cat C15ディーゼルエンジン	✓	ゲージ/インジケータ: サービスインジケータ - 電子式、ブレーキオイル温度ゲージ、冷却水温度ゲージ、アワーメータ、タコメータ、エンジン過回転インジケータ、燃料レベル、スピードメータ(走行距離計付き)、トランスミッションギヤインジケータ	✓
CATエンジンブレーキ	✓	ヒータ/デフロスタ(11,070 kCal/43,930 BTU)	✓
電動始動	✓	ホイストレバー	✓
オートアイドルリングストップ機能	✓	ホーン(電気式)	✓
2速発進	✓	ライト: 車内、ドーム	✓
トランスミッション - 7速自動パワーシフト(電子制御クラッチ圧力コントロールおよびアドバンスプロダクティビティエレクトロニックコントロールストラテジ(APECS、Advanced Productivity Electronic Control Strategy)付き)、ボディ上げシフトインヒビタ、コントロールスロットルシフティング、方向シフト管理、ダウンシフトインヒビタ、ニュートラル始動スイッチ、ニュートラル時惰性走行インヒビタ、リバースシフトインヒビタ、ダンプ中のリバースニュートラライザ、プログラム可能なトップギヤ選択	✓	ライト、ハロゲン	✓
ターボチャージャ	✓	ミラー	✓
電気装備		ミラー(ヒータ付き)	✓
後進警報アラーム	✓	電源ソケット(12 V)	✓
メンテナンスフリーバッテリー(12 V 2個、190アンペア時)	✓	視認パッケージ(WAVS)	✓
照明システム: 後退灯、方向指示器/ハザード警告灯(フロントおよびリアLED)、LEDヘッドライト(ディマーマ付き)、オペレータ乗降用車内灯	✓	転倒時運転者保護構造(ROPS)キャブおよび落下物保護構造(FOPS)キャブ	✓
		シート、フルエアサスペンション、4点式シートベルト(ショルダハーネス付き)	✓
		ステアリングホイール - パッド保護、チルト機能、テレスコープ機能	✓
		収納スペース	✓
		サンバイザ(着色ガラス)	✓
		スロットルロック	✓
		間欠ウインドシールドワイパとウォッシュャ	✓
		テクノロジー製品	
		Product Link™	✓
		トラクションコントロールシステム(TCS)	✓
		エコノミーモード(標準およびアダプティブ)	✓
		Advanced health	✓

770ダンプトラック仕様

標準およびオプション装備品

標準およびオプション装備品は異なる場合があります。詳細については、Cat®ディーラーにお問い合わせください。

	標準	オプション		標準	オプション
その他			その他(続き)		
ボディ: フラットフロア、採石、デュアルスロープ	✓		地上からアクセス可能なグリースフィッティング	✓	
ボディヒータ/ダイバータボックス	✓		リアビジョンカメラ(WAVS)		✓
ボディ下降インジケータ	✓		リザーバ(セパレート型): ブレーキ/コンバータ/ホイスト、ステアリング、トランスミッション/トルクコンバータ	✓	
ボディ安全ピン(ボディを「上げ」位置に固定)	✓		リム(15 x 33)	✓	
ボディサイドボード/ライナ		✓	ロックイジェクタ	✓	
QRコード - パーツブック	✓		整備用プラットフォーム(左側/右側)		
集中/自動給脂	✓		標準給脂/自動給脂		✓
クーラントヒータ	✓		補助ステアリング装置(自動)	✓	
エーテル補助	✓		サスペンション、フロントおよびリア	✓	
エクステンデッドライフクーラント(-35 °C/-30 °Fまで対応)	✓		スペアリム		✓
油圧式デマンドファン	✓		固定用の穴	✓	
バッテリー4個(Tier 3またはTier 2のみ)	✓		けん引用フック、フロント/けん引用ピン、リア	✓	
燃料ヒータ	✓		車輪止め		✓
燃料タンク(530 L/140 gal)	✓		盗難防止ロック	✓	
ガード、ドライブライン	✓		キャブエアフィルタ	✓	
ガード、エンジンコンパートメント	✓		キャブプレクリーナ		✓
ガード、エンジンクランクケース	✓		トラック生産管理システム	✓	
ガード、マッド	✓		タイヤ管理システム	✓	
グラウンドレベルバッテリーディスコネクト	✓		高速充填アダプタ - 燃料	✓	
地上からエンジンシャットダウンが可能	✓		ガード(オーバーヘッド)	✓	

次の情報は、本書の対象となっている地域で販売するために構成された、最終製造時の機械に適用されます。この宣言の内容は発効日時点で有効ですが、機械の機能および仕様に関連した内容は予告なしに変更されることがあります。詳細については、機械の取扱説明書を参照してください。

サステナビリティの実例および当社の進捗状況については、<https://www.caterpillar.com/ja/company/sustainability.html> をご覧ください。

エンジン

- CAT® U.S. EPA Tier 4およびEU Stage Vエンジンは、ULSD(硫黄含有量15 ppm以下の超低硫黄ディーゼル燃料)の使用を必要とし、最大で次の割合の低炭素強度燃料**を混合したULSDに対応しています*。
 - 20%のバイオディーゼルFAME(脂肪酸メチルエステル)**
 - 100%の再生可能ディーゼル、HVO(水素化植物油)、およびGTL(ガス液化)燃料
 - 米国EPA Tier 2相当、または米国EPA Tier 3およびEU Stage IIIA相当の排ガス規制に適合しているCATのエンジンには、次の濃度を上限とする低炭素強度燃料***が混合されているディーゼル燃料をお使いいただけます*。
 - 100%のバイオディーゼルFAME(脂肪酸メチルエステル)**
 - 100%の再生可能ディーゼル、HVO(水素化植物油)、およびGTL(ガス液化)燃料
- 適切な用途については、ガイドラインを参照してください。詳細については、Catディーラにお問い合わせいただくか、『Caterpillar推奨の機械油水類』(SEBU6250)を参照してください。
- *CATのエンジンはこれらの代替燃料に対応していますが、地域によっては使用が許可されていない場合があります。
- **排気管での低炭素強度燃料からの温室効果ガス排出量は、従来の燃料と基本的に同じです。
- ***後処理装置のないエンジンは、より高い混合率に対応し、最大100%のバイオディーゼルを使用できます(混合率が20%を超えるバイオディーゼルの使用については、Catディーラにお問い合わせください)。
- ****バイオディーゼルの混合レベルが20%より高い燃料の使用については、Catディーラにお問い合わせください。

エアコンシステム

- 当機のエアコンシステムにはフッ素系温室効果ガス冷媒R134aまたはR1234yfを使用。ガスの識別情報については、機械のラベルを参照してください。
 - R134a(地球温暖化係数=1430)を使用した場合、システムには1.9 kg(4.2 lb)の冷媒、つまり2.71メートルトン(2.99トン)のCO₂相当物が含まれます。
 - R1234yf(地球温暖化係数=0.501)を使用する場合、システムには1.85 kg(4.1 lb)の冷媒、つまり0.001メートルトン(0.001トン)のCO₂相当物が含まれます。

塗料

- 把握できる限りの情報に基づく、次の重金属の塗装内の最大許容濃度(ppm単位)は次のとおりです。
 - バリウム < 0.01% クロム < 0.01%
 - カドミウム < 0.01% 鉛 < 0.01%

騒音に対する性能 – Tier 4 Final/Stage V

オペレータ騒音レベル(ISO 6396:2008)	80 dB(A)
周囲騒音レベル(ISO 6395:2008)	117 dB(A)

- オペレータ音圧レベルは、標準の車両仕様構成用にISO 6396:2008で規定されている試験の手順と条件に従って測定されました。この測定は、エンジン冷却ファンを最高速度の70%にして行われました。
- キャブ式運転室であっても、キャブが適切にメンテナンスされていない場合、ドアやウィンドウが開いている状態で長時間作業する場合、騒音の激しい環境で作業を行う場合などでは、聴覚保護具が必要になる場合があります。
- 機械の音響出力レベルは、標準の車両仕様構成用にISO 6395:2008で規定されている試験の手順と条件に従って測定されました。この測定は、エンジン冷却ファンを最高速度の70%にして行われました。

騒音に対する性能 – Tier 2相当

オペレータ騒音レベル(ISO 6396:2008)	81 dB(A)
周囲騒音レベル(ISO 6395:2008)	117 dB(A)

- オペレータ音圧レベルは、標準の車両仕様構成用にISO 6396:2008で規定されている試験の手順と条件に従って測定されました。この測定は、エンジン冷却ファンを最高速度の70%にして行われました。
- キャブ式運転室であっても、キャブが適切にメンテナンスされていない場合、ドアやウィンドウが開いている状態で長時間作業する場合、騒音の激しい環境で作業を行う場合などでは、聴覚保護具が必要になる場合があります。
- 機械の音響出力レベルは、標準の車両仕様構成用にISO 6395:2008で規定されている試験の手順と条件に従って測定されました。この測定は、エンジン冷却ファンを最高速度の70%にして行われました。

油水類

- 工場出荷時には、エチレングリコール冷却水が充填されています。CATディーゼルエンジン不凍液/クーラント(DEAC、Diesel Engine Antifreeze/Coolant)およびCATエクステンデッドライフクーラント(ELC、Extended Life Coolant)は、リサイクルできます。詳細については、Catディーラにお問い合わせください。
- CAT Bio HYDO Advancedは、EU Ecolabel認証済み生分解性作動油です。
- その他の油水類も存在する可能性があります。詳細な推奨油水類およびメンテナンス間隔については、取扱説明書または用途および設置ガイドを参照してください。

機能およびテクノロジー

- 次の機能およびテクノロジーは、燃料の節約および二酸化炭素排出量の削減に貢献する可能性があります。機能は異なることがあります。詳細については、Catディーラにお問い合わせください。
 - 標準およびアダプティブの2つの燃料エコノミーモードにより燃料消費量を自動的に最適化します。
 - トラックが事前に設定した時間、駐車またはアイドリングした場合に、調整可能なオートアイドリングストップ機能により燃料が節約されます。
 - 速度制限により、より燃料効率の良いエンジン回転数とギヤ選択で運搬できます。
 - トラクションコントロールシステムは、ホイールグループ間で出力とブレーキを調整することで、路面状態に対してより適切な対処を可能にします。
 - 作動油フィルタの耐用期間が延長され、交換間隔が1,000時間と長寿命になります。

リサイクル

- 機械に含まれる材質の分類と概算の質量割合を以下に示します。製品コンフィギュレーションの違いにより、次の表の値は実際と異なる場合があります。

材質タイプ	質量割合
鋼製	77.75 %
鉄	11.30 %
非鉄金属	2.08 %
合金	2.09 %
金属および非金属混合物	3.10 %
プラスチック	0.79 %
ゴム	0.90 %
非金属混合物	0.03 %
油水類	0.63 %
その他	0.70 %
未分類	0.63 %
合計	100 %

- リサイクル可能率の高い機械により、貴重な天然資源をさらに効率的に使用でき、耐用年数に到達した製品の価値が高まります。ISO 16714(土木建設機械類 – リサイクル可能率および回収可能率 – 用語および計算方法)によれば、リサイクル可能率は新品の車両のリサイクル、再利用、またはその両方が可能な質量による割合(パーセント単位の質量分率)として定義されます。

部品表のすべての部品は、まずISO 16714および日本CEMA(Construction Equipment Manufacturers Association、日本建設機械工業会)の基準により定義されているコンポーネントの一覧に基づくコンポーネントタイプにより評価されます。さらに、残りの部品のリサイクル可能率が材質タイプに基づいて評価されます。

製品コンフィギュレーションの違いにより、次の表の値は実際と異なる場合があります。

リサイクル可能率 – 96 %

Cat製品、ディーラサービス、および産業ソリューションに関する詳細情報については、Webサイト (www.cat.com) をご覧ください。

記述の内容と仕様は、予告なしに変更されることがあります。写真の機械はオプション装備品を含む場合があります。利用可能なオプションについては、Catディーラにお問い合わせください。

© 2025 Caterpillar. All Rights Reserved. CAT, CATERPILLAR, LET'S DO THE WORK, VisionLink、それらの各ロゴ、Product Link、"Caterpillar Corporate Yellow"、"Power Edge"および Cat "Modern Hex"のトレードドレスは、ここに記載されている企業および製品と同様に、Caterpillar社の商標であり、許可なく使用することはできません。

AJXQ3422-01 (11-2025)
AJXQ3422-00の改訂版
ビルド番号: 07
(Global)

